

### 西方地区小中一貫道徳教育 研究

今年度、西方地区では、栃木市教育委員会の指定を受け、小中一貫の道徳教育の研究を行っています。2カ年計画で研究を行います。既に、研究テーマが決まり、西方中学校、西方小学校、真名子小学校3校が共同して研究を進めています。研究テーマは、

#### 「9年間を見通した一貫性のある道徳教育の推進」 ～ 主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫 ～

です。小中学校9年間で、道徳教育の視点から、保護者の方々の願いや児童の思い、教師の願いを明らかにしました。3校で協力して、その結果を分析し、西方地区としては、次のような児童生徒を育成していくこととしました。

- ◎自分の目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させる子
- ◎相手に対する思いやり、尊敬と感謝の心を持てる子
- ◎生命ある全てのものを尊重し、大切にする子
- ◎学級や学校、地域の中で自分の役割を自覚し、  
集団をよりよくしようとする子

さて、道徳とは、社会生活の秩序を保つために、個人が守るべき規範のことをいうことは皆さんご承知の通りです。

小学校では、次に示すようなことができる子を学校教育全体を通して育てようとしています。

- ・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図れる子。
- ・公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し国際社会の平和と発展をや環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある子。
- ・基本的生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしない子。

小中学校には、週1時間、道徳の時間があります。この時間は道徳教育の要の役割を持っています。今後、道徳の時間の授業研究の様子を中心に、どのようにして道徳教育を行っているのか、この道徳だよりなどを通して、お知らせしていきたいと思っています。そして、家庭や地域の皆さんと共に子ども達の道徳性を育てていければと思っています。

